



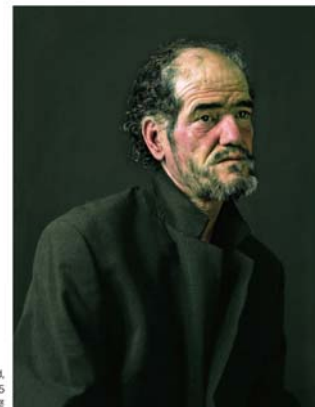
Vol.0860 Daido Moriyama "Misawa", 1971/2007  
提供: タカ・インシイギャラリー、草場地春の写真祭

森山大道  
「遠野物語と  
70年代ヴァンテージプリント」  
4月29日 [日] ▶ 5月30日 [日]

●三影堂攝影藝術中心  
朝阳区草場地155号  
☎6432-2663  
☎10:00~18:00(月曜定休)  
☎www.threeshadows.cn

および798芸術区内の27カ所余りのギャラリーでも、関連の展覧会が催される。また4月17日から22日までのオーブニングウィークには、アルル国際写真祭のディレクターや世界的に活躍するキュレーター、写真家らを迎えたシンポジウムや作品論評会、野外上映会なども企画されている。中でも見逃せないのは、21日の16時から三影堂攝影藝術中心で行われるトークイベント。今日日本で注目されている浅田政志、ERIC、高橋宗正の3名が来場し、彼らの作品をスライドで放映しながら、トークを繰り広げる。この他にも多彩なイベントや展覧会が目白押し。「とても一日では見切れないうえ」と映里さんが話さすよう、期間中何度も足を運んで、世界の写真作品に触れてみたい。

三影堂攝影藝術中心では、4月17日より、2009年アルル国際写真祭アイスカハリ賞を受賞したリトアニア出身の Rimadas Viskritis の作品展示と、ノミネート作品のスライドショーを放映する他、中国の写真芸術発展のために設けられた三影堂攝影賞の2010年度受賞作品展も同時開催。写真祭という場で発表することにより「中国の作品に対して、国際的な理解を促していきたい」という思いが込められている。さらに4月29日からは、アルル国際写真祭にも参加歴のある日本を代表する写真家、森山大道の個展を開催。まさに、写真による国際交流が実現する。



Pierre Gonnord, AHMED 2005  
提供: 草場地春の写真祭



お話を伺った榮榮&映里さん

草場地  
春の写真祭

草場地春の写真祭2010は、北京アートの発信地・草場地将をメイン会場に、20軒以上のギャラリーやアート関連企業が参加する大規模な写真祭。第1回目となる今年から3年間は「アルル・イン・北京」をテーマに、40年の歴史をもつフランスのアルル国際写真祭と連携して行われる。

イベントの発起人である三影堂攝影藝術中心ディレクターの榮榮&映里(ロンロン&インリ)さんは、この写真祭について「アルル国際写真祭の出品作品を展示するだけでなく、写真を通して国内外の作家や写真愛好家が交流できるような場を作りたい」と語る。

Caochangdi  
Photo  
Spring  
2010



Naoya Hatakeyama, Blast #11009, 2004  
C-print 100 x 150cm  
提供 Mizuma & One gallery, タカ・インシイギャラリー、草場地春の写真祭

畠山直哉  
「Blast」  
4月17日 [土] ▶ 5月2日 [日]

●Mizuma & One gallery  
朝阳区崔各庄草場地241-15号  
☎5127-3267  
☎10:00~18:00(月、火曜は予約參觀のみ)  
☎www.mizuma-one.com/

ピエール・ゴノー  
「Under the Skin」  
4月17日 [土] ▶ 5月19日 [水]

●麦勒画廊  
朝阳区崔各庄草場地村104号  
☎6433-3393  
☎11:00~18:30(月曜定休)  
☎www.galerieursmeile.com

草場地  
PHOTO SPRING  
SAOCHANGDI  
攝影祭

関連展覧会やイベントスケジュール  
はホームページをチェック!  
www.ccdphotospring.com